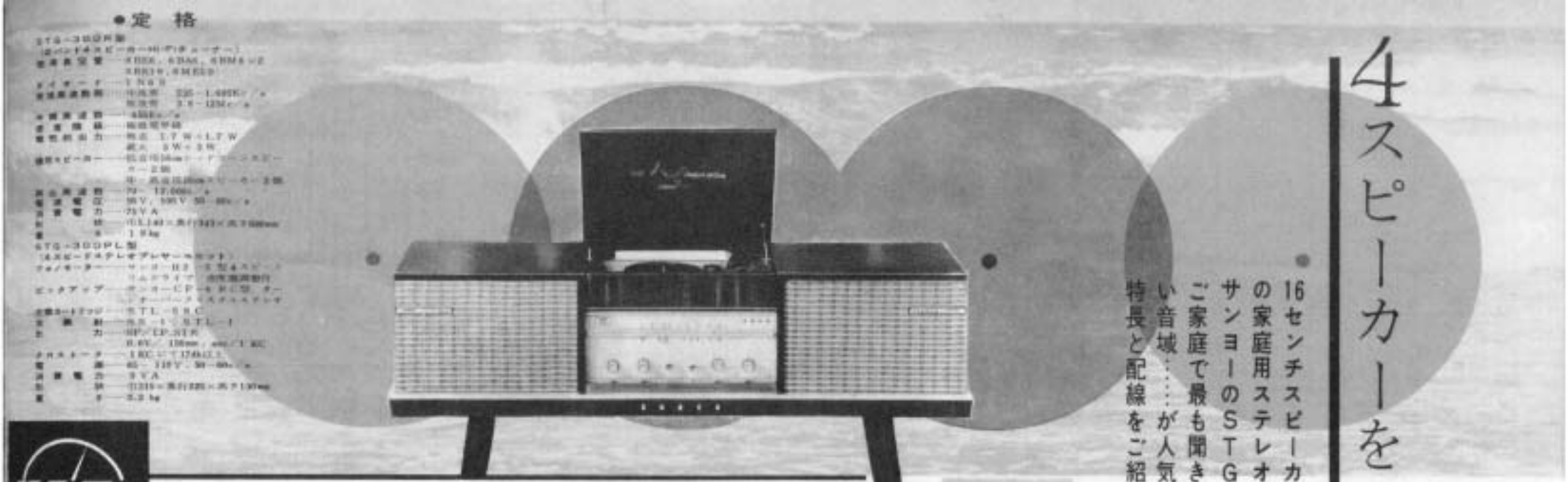
4スピーカーをステレオ配線する！

16センチスピーカーを4コ使ったワイド方式の家庭用ステレオ装置が話題を集めています。サンヨーのSTG-300型がそれです。ご家庭で最も聞きやすい音、簡単な操作、広い音域……が人気のマト……。このセットの特長と配線をご紹介しましょう。

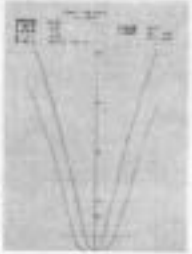


サンヨー Hi-Fi ステレオ

三洋電機株式会社

STG-300型 HI-FI 4スピーカーシステム（2点1式）
現金正価 32,000円

●STG-300型現金正価27,000円・STG-300PL型現金正価5,000円



第1図

＊STG-300型の特長は

1 左右に2コずつ16cmのスピーカーを4コ使ったワイド方式ですから、迫力と広がりのある立体音が得られます。（裏面参照）

2 低周波段は各チャンネルに3極、5極複合管6BM8をそれぞれ使用しています。クロストークはマイナス50db（一〇〇～二〇、〇〇〇サイクル）になっています。

3 プログラムソースの種類や抵抗によって、聴きやすい音質が選べるよう3段階に変化するトーンコントロール回路が附加されています。

4 ラジオ部は国内の中波放送はもちろんのこと、海外の短波放送も高感度で受信できる2バンドのオールウェーブです。

5 中波のラジオ放送もローカル局はHi-Fiで聴取できるように倍意しています。そのため中間周波トランスの結合を変えて、広帯域で10Kc、狭帯域で4.8Kcの帯域巾を得ていますので、Hi-Fi受信もDX受信も満足するようになっています。このセットのI・F・T特性を第1図で示します。

＊STG-300PL型の特長は……

1 ピックアップのカートリッジには、新設計のカートリッジが使用されていますので、左右のクロストークは改善され、分離が良くなり広い周波数範囲とダイナミックレンジを再生します。

2 駆動モーターには高性能インダクションモーターを使用し、マグネチックコントロール方式による速度微調整がついていますので、電源の変動に対しても常に安定した回転が得られます。

サンヨー製品紹介

STG-500型
現金正価 59,500円

STG-600型 ¥19,800円
STG-5000 ¥17,500円
STG-2000 ¥8,800円
現金正価 42,000円

75-P4型
現金正価 9,950円

STP-107型
現金正価 6,200円

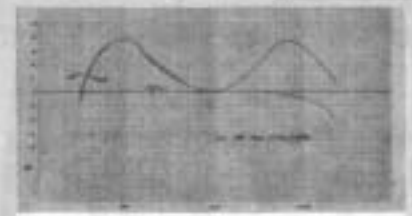
75-07型
現金正価 11,500円

SF-45型 BCスタイル
現金正価 7,300円

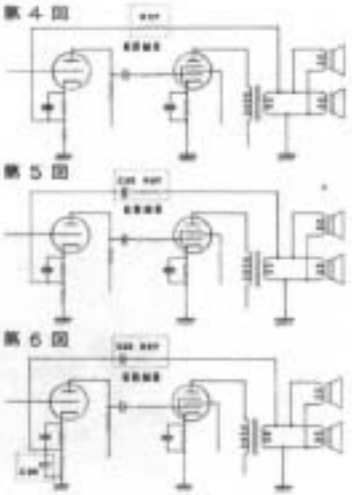
STG-300型 配線図

番号	名称	許容差	耐圧	備考
R 1	60Ω	±10%	½L	モールド
R 2	30K	〃	〃	
R 3	200Ω	〃	〃	
R 4	2M	〃	〃	モールド
R 5	1M	〃	〃	モールド
R 6	10K	〃	2L	
R 7	2M	〃	½L	モールド
R 8	200K	〃	〃	
R 9	50K	〃	〃	
R 10	200K	〃	〃	
R 11	50K	〃	〃	
R 12	100K	±10%	½L	
R 13	〃	〃	〃	
R 14	5K	〃	〃	
R 15	〃	〃	〃	
R 16	100Ω	〃	〃	
R 17	〃	〃	〃	
R 18	50K	〃	〃	
R 19	250K	〃	〃	
R 20	〃	〃	〃	
R 21	500K	〃	〃	
R 22	〃	〃	〃	
R 23	5K	〃	〃	
R 24	〃	〃	〃	
R 25	420Ω	〃	1L	
R 26	〃	〃	〃	
R 27	1K	〃	½L	
R 28	〃	〃	½L	
R 29	〃	〃	1L	
R 30	400Ω	〃	3L	
VR1	1M	A type	シャシ	VR1は2連
VR1	〃	〃	〃	
VR2	〃	B type	〃	1連VR

番号	名称	許容差	耐圧	備考
C 1	100PF	±10%		チタコン
C 2	0.05μF	±20%	400WV	
C 3	10PF	±10%	CN-7501	チタコン
C 4	3100PF	〃		チタコン
C 5	400PF	±3.5		チタコン
C 6	100PF	±10%		チタコン
C 7	0.05μF	±20%	400WV	
C 8	〃	〃	〃	
C 9	0.01μF	〃	〃	
C 10	100PF	±10%		チタコン
C 11	200PF	〃		チタコン
C 12	0.01μF	±20%		
C 13	30μF		6WV	
C 14	30μF		6WV	
C 15	200PF	±10%		チタコン
C 16	〃	〃		
C 17	0.05μF	±20%	400WV	
C 18	〃	〃	〃	
C 19	3μF		300WV	
C 20	25μF		50WV	
C 21	〃	±20%	〃	
C 22	0.5μF	〃	150WV	
C 23	0.5μF	〃	〃	
C 24	0.5μF	±20%	〃	
C 25	〃	±20%	〃	
C 26	0.01μF	〃	400WV	
C 27	0.01μF	〃	〃	
C 28	0.05μF	〃	600WV	
C 29	C30, C31	ペーパー電解	35+35+45μF	350WV
	PC1, PC2	PC3, PC4	トリマー	
V C			バリコン	



第7図 トーンコントロール特性



第4図

第5図

第6図

●MEDの時は各々のR27・R28を通して各チャンネルのドライバー段のカソードに帰るようになっています。第4図

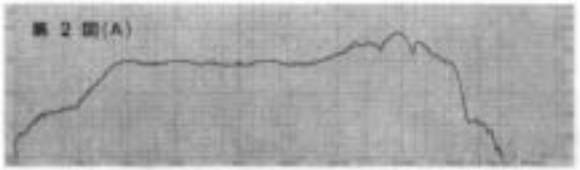
●LOWの時はR27とC22・R28とC23がシリーズに入り低音部を増強するようになっています。第5図

●FULLの時、低音部はLOWの時と同じ回路で補整され、高音部はドライバーのカソードにC24・C25（685μF）が入り高音部を補整するようになっています。第6図

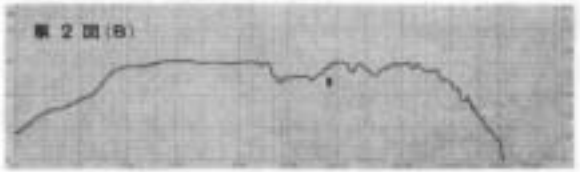
●この各回路による特性を第7図に示します。

●トーンコントロール回路

トーンコントロールの回路には、CR減衰型とNF型とがありますが、STG-300型に使用されているトーンコントロールは後者のNF型です。このセットのように限られた増巾段では、高・低別々に調整できる回路は使用できません。又単に高音カット、低音カットのみでは様々なプログラムソースを満足に補整して聴くことができません。そこでNF量を変化させて、高音・低音を補整する回路を採用しました。



第2図(A)



第2図(B)

第3図

本機のスピーカーシステムは16cm2コを1対として合計4コのスピーカーが使われています。1対となっているスピーカー（S-16FDとS-16FE）は同じ口径の16cmですがS-16FDの方はやや低音の再生を有利なように、S-16FEはやや高音の再生に有利なようにコーン紙の成型に留意されています。各スピーカーをJIS標準ボックスに入れた時の特性表を第2図A・Bに示します。S-16FD、S-16FEをSTG-300型のキャビネットに入れた時の特性を第3図に示します。